

担当幹事 殿村 泰弘(Tonomura Yasuhiro) 宮城県石巻市 (Ishinomaki-shi Miyagi-ken,Japan)

2000年8月の望遠鏡観測の結果を(表-1)に示します。今月は3名の方から報告がありました。

(表-1) 2000年8月の望遠鏡観測結果

Table 1 Summary of the Telescopic Meteor observations in Aug, 2000

観測者 Observer	観測地 Locality	夜数 Night	時間 Time	流星数 Meteor			備考 Remarks
				Plot	Seen	Total	
寺迫 正典	静岡県引佐町	5	515	-	35	35	25cm×35 2.4° L.T. 40cm×57 1.5° L.T. 15cm×25 2.7° Bino.
殿村 泰弘	山形県立川町	2	240	15	1	16	5cm×7 7.3° Bino.
渡辺 忍	静岡県焼津市	3	530	-	21	21	15cm×25 2.7° Bino.
2000年8月計		10	1,285	15	57	72	HR=3.4

8月も天候に恵まれない日が続きました。日中は天気がよいのですが、夜になると雲が発生して観測できないという日が多くありました。しかも日中は、昨年並みの猛暑で、夜間の睡眠不足を解消するのに苦労されたものと思います。その中でも観測された3氏の努力に感謝申し上げます。

8月の望遠鏡流星の光度分布と Per群の出現状況

光度分布

8月の望遠鏡流星の光度分布を(表-2)に示します。

	-3.0	-2.0	-1.0	0.0	1.0	2.0	3.0	4.0	5.0	6.0	7.0	8.0	9.0	10.0	11.0	12.0	13.0	L-Mag	Total	Avg. Mag.
寺迫 (Terasako.M)	0											2	4	7	16	5		10.5-13.0	34	10.53
殿村 (Tonomura.Y)	0									2	6	1	4	2				9.5-10.5	15	7.87
渡辺 (Watanabe.S)	0						0	0	2	0	6	6	6	1				10.0-12.0	21	8.81
Total	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	6	9	14	15	17	5	0		70	9.44

(表-2) 2000年8月の望遠鏡流星の光度分布

Table 2 Magnitude distributions of the Telescopic Meteors in August,2000

Per群の出現状況

幹事が、ペルセ群の双眼鏡観測を12/13日と13/14日の2夜行いました。例年太平洋側はこの時期日中は晴れて暑いものの、夜間になると曇るという毎日が続く、観測ができないことが多いので(天気予報では、夜間も晴れの予報が出ますが、当たらないのです)、今年も日本海側まで出かけました。案の定、奥羽山脈を越えると、朝まで観測ができました。

観測結果は、下記の通りです。

Aug. 2000

Date. JST Time aM Spo Per Lm CL Di r Meth

```
-----
12/13 01:00-02:00 60 4 0 4 9.5 0 46.9 ° +56.7 ° T(Plot)
12/13 02:00-03:00 60 5 1 4 10.5 0 46.9 ° +56.7 ° T(Plot)
13/14 00:00-01:00 60 3 0 3 9.5 0 46.9 ° +56.7 ° T(Plot)
13/14 01:00-02:00 60 4 1 3 9.5 0 46.9 ° +56.7 ° T(Plot)
-----
```

この観測からは、12/13日は早朝に向かって増加傾向、13/14日は減少しているように思われます。ただ捉えている群流星の数が少ないので、これ以上のことは言えません。

UT																								
日	開始	JST	終了	JST	分	中央時	観測方向	P	S	T	HR	Mag	See	CI			観測者 (Observer)							
5	24	10	25	0	50	5.649	Aqr,PsA,ScI,Cet	-	1	1	1.2	12.0	G	0			15cmBino.	渡辺 (Watanabe S)						
5	25	0	26	0	60	5.688	Cet,ScI,For	-	3	3	3.0	12.0	G	1			15cmBino.	渡辺 (Watanabe S)						
5	26	0	27	0	60	5.729	Cet,Tau,Eri	-	5	5	5.0	12.0	G	1			15cmBino.	渡辺 (Watanabe S)						
5	27	0	27	55	55	5.769	Ori,Tau,Aur,Gem	-	4	4	4.4	12.0	G	0			15cmBino.	渡辺 (Watanabe S)						
12	25	0	26	0	60	12.688	: 46.4° : 56.7°	4	0	4	4.0	9.5	P	0			5cmBino.	殿村 (Tonomura.Y)						
12	26	0	27	0	60	12.729	: 46.4° : 56.7°	4	1	5	5.0	10.5	M	0			5cmBino.	殿村 (Tonomura.Y)						
13	24	0	25	0	60	13.646	: 46.4° : 56.7°	3	0	3	3.0	9.5	P	0			5cmBino.	殿村 (Tonomura.Y)						
13	25	0	26	0	60	13.688	: 46.4° : 56.7°	4	0	4	4.0	9.5	P	0			5cmBino.	殿村 (Tonomura.Y)						
22	19	34	21	34	120	22.482	Her,Boo,CVn,CrB	-	8	8	4.0	13.0	rG				40cm L.T.	寺迫 (Terasako.M)						
22	27	24	28	24	60	22.788	Lyn,Gem,CMi,Mon,CMa	-	1	1	1.0	10.5	rG				15cmBino.	寺迫 (Terasako.M)						
23	19	30	21	0	90	23.469	Her,CrB,Ser,Boo	-	5	5	3.3	13.0	rG				40cm L.T.	寺迫 (Terasako.M)						
23	24	35	25	0	25	23.658	Cep,Cam,Cas	-	0	0	0.0	10.0	P	3			15cmBino.	渡辺 (Watanabe S)						
23	25	0	25	35	35	23.679	Cam,Cas	-	1	1	1.7	10.0	P	7			15cmBino.	渡辺 (Watanabe S)						
24	19	30	20	20	50	24.455	Her,Boo,CVn	-	3	3	3.6	12.5	M				40cm L.T.	寺迫 (Terasako.M)						
28	24	20	25	0	40	28.653	Cet,ScI	-	1	1	1.5	11.0	M	0			15cmBino.	渡辺 (Watanabe S)						
28	25	0	26	0	60	28.688	Cet,For,Eri	-	6	6	6.0	11.0	M	1			15cmBino.	渡辺 (Watanabe S)						
28	26	0	27	0	60	28.729	Eri,For	-	0	0	0.0	11.0	M	2			15cmBino.	渡辺 (Watanabe S)						
28	27	0	28	0	60	28.771	Ori,Mon,Cnc	-	0	0	0.0	11.0	M	0			15cmBino.	渡辺 (Watanabe S)						
28	27	10	28	25	75	28.783	Cam,Lyn,Cnc,Gem,CMi	-	6	6	4.8	11.5	rG				15cmBino.	寺迫 (Terasako.M)						
28	28	0	28	25	25	28.800	Cnc	-	0	0	0.0	11.0	M	1			15cmBino.	渡辺 (Watanabe S)						
29	26	24	28	24	120	29.767	Cam,UMa,Lyn,Aur,Gem	-	12	12	6.0	12.5	G				25cm L.T.	寺迫 (Terasako.M)						
10 Night						1285 Min.			15	57	72	3.4												

2000年8月の望遠鏡流星の出現数変化

Table 3 Telescopic Meteors Observational data in August,2000

IMCに参加して

なお幹事は、9月21日から24日までルーマニアのPucioasa市で開かれたIMCに参加してきました。

会議の前後は、アッシャーさんと一緒に宿(昨年お世話になった日本という民宿)でした。そこでアッシャーさんに聞いたところ、15等以下の流星も存在するとのこと。ただし、速度は明るい流星に比べ遅くなるとのこと。なぜなら流星物質の質量が軽いために、空気抵抗で減速されるらしい。しかもこうしたくらい流星を観測するためには大きな望遠鏡が必要ですが、こうした望遠鏡では視野が極端に狭くなるため、捉えることが極端に難しくなると思う。と話していました。

またIMCの会議では、ヨルダンの参加者から昨年11月のしし群の極大時の出現状況を記録した録音テープと観測の様子を記録したビデオは、流星が大出現すると、こんなにも観測者は興奮するということが判る報告がありました。また、IMOの会誌WGNの報告でよく使われているフリーソフトのRadiantのデモがあり、望遠鏡観測で使えないかと帰国後、早速ダウンロードしてみました。まだマニュアルを読んでいませんが、私のPCでは問題なく動作しました。このソフトは、観測したすべての流星の発光点と消滅点を入力すると、輻射点のある確率が高いところを濃淡で表示してくれるソフトです。これは少ない出現でも、輻射点の位置を濃淡で表示するので、捉える流星が少ない望遠鏡観測での利用価値が高いと感じました。これからこのソフトを使っての使用報告を今後お知らせしたいと思います。なおこのソフトは、IMOのHPからダウンロードすることができます。WIN98でなく、MS-DOS上で動くようです。